

未来にワクワク



新しい対話型キャリア教育プログラム

xTReeE

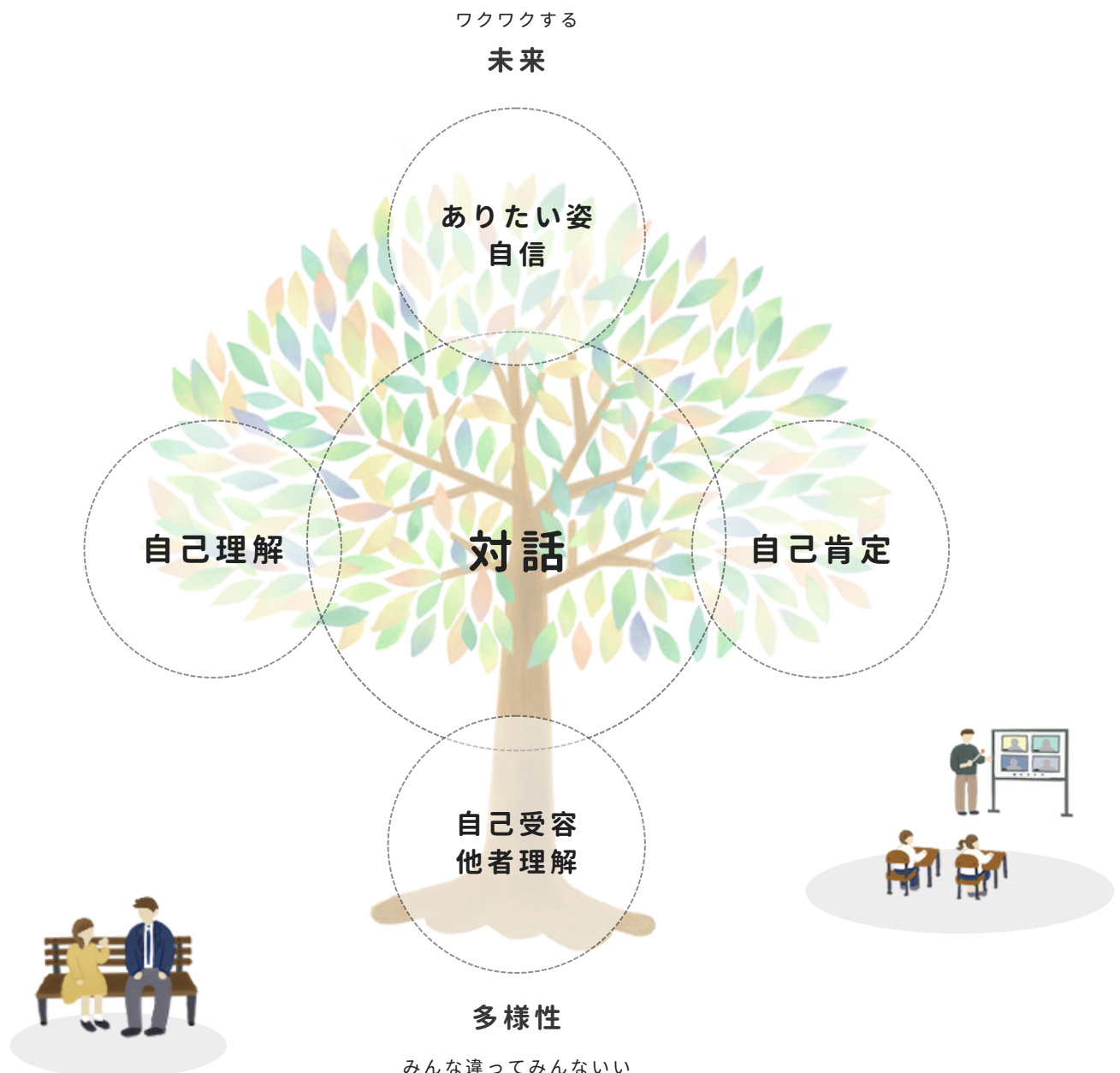
NPO 法人 クロスツリー



一人ひとりに寄り添う「対話」で 子どもたちの気づきを促す

私たちxTReeE（クロス・ツリー）が提供するキャリア教育プログラムの特徴は、国家資格を持つプロフェッショナルによる「対話」です。対話を通じて、児童・生徒の思いを丁寧に引き出し、自己理解と自己肯定感の向上を促します。また、「そのままの自分」を否定されることなく受け止めてもらえた経験は、子どもたちが自分に自信をもって未来に進むための基礎となります。

プログラムを通じて、子どもたち一人ひとりが自分らしさやありたい姿を言語化し、自分を信じる心を養い、未来を自分らしく歩んでいくための勇気を育みます。



こんな先生におすすめ

xTReeEのプログラムは、コーディネーターが丁寧にヒアリングを行い、目的やクラスの課題に応じてカスタマイズしたものを提供しています。パッケージ化された教材の提供ではなく、企画から実施まで、子どもたち一人ひとりに寄り添った授業を先生方と一緒につくります。



子どもたちが今の自分を振り返り
未来の自分に向き合うきっかけをつくりたい。



今のキャリア教育の授業を
変えたいけれど何をしたらいいか悩んでいる。



子どもたちが、のびのびと自分らしく
生きられるようサポートしたい。

国家資格を持つプロによる 対話型キャリア教育プログラム

対話のプロ キャリアコンサルタント

xTReeEのキャリア教育プログラムでは、国家資格を持ったキャリアコンサルタントが子どもたちとオンラインでつながり、1対1で対話する時間があります。

キャリアコンサルタントは、対話を通じてその人の価値観や自分らしさを引き出すプロ。子どもたち一人ひとりの多様な価値観を受け止めながら、児童・生徒に気づきを促します。



子どもたちの声

言葉にすることで

自分のやりたいことがはっきりしました。



話しやすく、キャリアコンサルタントの人が
色々なことを引き出してくれました。



否定の言葉が一つもなかったので、自信を持って話せました。
これまで親にも話せていなかった将来やりたいことや野望を
聞いてもらえて、「本当にできるかも」と思えました。



自分のいいところが見つかりました。



自分にはしっかりした軸があり、自分なりの考えを
きちんと持っていることに気づけました。



連携・共創先からのメッセージ

プログラムの企画・開発・実施で、連携・共創している団体や学校からメッセージをいただきました。

自分のこれまでのこと、今の自分とは、自分は
どうなっていくのか、そんなことを考える
のは、あっちへ行ったり、こっちに戻ったり、
上がった、下がった、不安定でストレスフルな時間。
でも、そこに安心感があれば、その不安定を
面白がることできる。
キャリアコンサルタントは安心して試行錯誤
できるそんな瞬間を生み出していく人たち。
だから、親でも、先生でも、友達でもない、
その人と過ごす15分をすべての子ども達に。

中学2年生全員が、総合的な学習の一環とし
て、キャリアコンさんとZOOMを使った1 on 1
の面談を行いました。この面談では、自分の
「好きなこと」や「やりたいこと」を再発見
し、今後の探究学習につなげることを目指し
ました。キャリアコンさんとの対話を通じて、
彼らは自分らしさを認めてもらったことで大
きな自信を得たようです。
この取り組みが、探究学習だけでなく、彼ら
の学校生活全体に良い影響を与えることを期
待しています。

金子 嘉宏
東京学芸大学・教授
未来の学校みんなで創ろう。
PROJECT・プロデューサー



熊谷 向祐
立命館宇治中学校・教頭



xTReeEのキャリア教育プログラム



らしさ発見プログラム

自分自身や友達の「よさ・もちあじ」に気づき、認め合うことで、児童・生徒一人ひとりの自己肯定感を育むプログラムです。



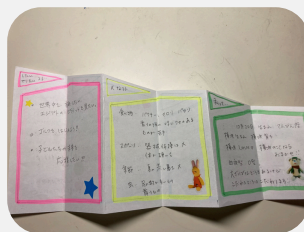
夢のカケラ発見プログラム

児童・生徒一人ひとりが、好きなもの、やってみたいこと、将来の夢などに関連した画像をつかったワークショップに取り組みます。



ありたい姿の名刺

自分の土台となる「ありたい姿」を考え、ワークを通じて言語化することにより、主体的にこれからの進路について考えることにつながります。



令和のプロフィール帳

プロフィール帳づくりをしながら、児童・生徒の興味関心を引き出すワークショップ。自己表現と自己開示を通じて、自己理解と他者理解を深めます。



職業人調べ

職業ではなく「人」にフォーカスした職業調べ。多様な働き方をする大人の価値観を知り、今の自分・将来の自分について考えることで、働く価値観を醸成します。



ストレンクス・サポーターズ

一人ひとり異なる子どもの強みを発見し、伸ばすために、強み診断とキャリアコンサルタントとの対話を通じて、親と子それぞれの特性を引き出します。
(親子ワーク)

Pick
up!
プログラム
紹介

らしさ発見プログラム

強みと弱みは表裏一体の個性

自分自身や友達の「よさ・もちあじ」に気づき、認め合うことで、児童・生徒一人ひとりの自己肯定感を育むプログラムです。

対象：小学校5年生～中学校3年生



授業の流れ（一例）

01

事前学習

ワークシートに記入しながら、自分らしさについて考える。（学校のみで実施、教材は提供）

02

交流学习

友達とのグループワークやキャリアコンサルタントとの対話を通して「自分らしさ」の気づきを深める。

03

振り返り

気づきを振り返り、これからの自分につなげる。（学校のみで実施、教材は提供）

プログラムに込めた思い

「そのままの自分」を受け止めてもらえた経験が 子どもたちの自己肯定感を育む

「自分の短所はたくさん書けるのに、いい所を書ける子が少ない」
このプログラムは、教育現場からのそんな声をきっかけにつくられました。
私たちがこのプログラムを通して伝えたいのは、「いい所も悪い所も、全部ひっくるめてその人のもちあじ」であるということ。対話を通じて、今の「そのままの自分」を受け止めてもらえた経験が、子どもたちの「自分自身を信じる心」の拠りどころとなるよう、一人ひとりの思いに丁寧に寄り添います。

ありたい姿の名刺

自分らしい生き方を考え 主体的な進路選択をするために

自分の土台となる「ありたい姿」を考え、ワークを通じて言語化することにより、主体的にこれからの進路について考えることにつながります。

対象：小学校5年生～中学校3年生



授業の流れ（一例）

01

事前学習

「ありたい姿（Be）」と「なりたい姿（Do）」の違いを学んだうえで、自分のありたい姿について考えるワークを行う。（教材は提供、講師の派遣も可）

02

交流学习

自分のありたい姿を名刺の形で表現。クラスの仲間とのグループワークやキャリアコンサルタントとの対話を通して自己理解を深める。

03

振り返り

自分と向き合い、他者と交流・対話して得た気づきをまとめ、これからの進路にどのように向かうかを考える。

プログラムに込めた思い

進路の選択と向き合う子どもたちに 羅針盤となる「自分のありたい姿」を見つけてほしい

このプログラムは、「進路という自分の将来の選択と向き合う子どもたちを応援できるような授業がしたい」という先生の思いを受けて、東京学芸大学の「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」の一環として開発しました。

プログラムの目的は、児童・生徒が自己理解を深め、自分自身の「ありたい姿」を言語化する機会を提供すること。これにより、子どもたちが未来に向けて自信を持って一歩を踏み出せるようになることを目指します。

xTReeEについて

私たちは キャリア教育 に取り組むNPOです

自分の未来にワクワクする人を増やしたい！
そんな思いで活動しています。

こんな活動をしています！

01

小学校・中学校向け
キャリア教育プログラムの
企画や提供

02

PTA・教員向け
キャリア教育セミナー・研修の
講師派遣

03

オンラインコミュニティ
「Eキャリア部」の運営



NPO法人xTReeE

クロス・ツリー

設立： 2022年11月
代表理事： 北川雄久
活動エリア： 全国・オンライン
info@xtreee.or.jp
<https://www.xtreee.or.jp/>

まずは先生が、キャリアコンサルタントとの
対話を体験してみませんか？

先生向けの体験授業を受け付けています。
お問い合わせフォームもしくはメールで
お気軽にご相談ください。



お問い合わせフォーム